

2025年4月21日

サイバネットMBSE株式会社

MapleMBSEの新バージョン(MapleMBSE_2025.0) リリースのお知らせ

サイバネットMBSE株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：荒木 克文、以下「サイバネットMBSE」）は、MapleMBSEの新バージョン（MapleMBSE_2025.0）を2025年4月1日にリリースいたしました。

今回リリースするMapleMBSEの新バージョンでは、ダッソー・システムズ社NoMagic/CATIAMagic製品の新バージョンへの対応や、既存ユーザーからのフィードバックに基づいて状態遷移表や2次元表上での要求分析機能の強化、設定ファイル（SysMLモデル⇔Excelシートのマップファイル）の自動作成機能の拡充、等が盛り込まれています。

MapleMBSEは、SysMLモデルをExcelから編集・参照できるソフトウェアです。

SysMLモデリングに不慣れなユーザーも、SysMLモデルの情報にExcelからアクセスしてモデル情報を活用することができます。

弊社では、今後もお客様課題解決の為にコンサルティングおよびエンジニアリングサービスの提供だけでなく、MBSEに関連する技術動向の把握に努め、最前線のテクノロジーやスキルを駆使してサービス提供に努めていく所存です。

[MapleMBSE紹介ページはこちら](#)

◆ MapleMBSE_2025.0 新機能概要

・ NoMagic/CATIAMagic 2024xへの対応：

Teamwork CloudとMagic Collaboration Studioの2024xへの対応が出来る様になりました（旧バージョンの対応は NoMagic/CATIAMagic2021x以上に対応）

・ ブランチ名とモデル名表示：

現在Excelで編集中のSysMLモデルの「モデル名」、「ブランチ名」、「バージョン番号」の情報をExcelのステータスバーに確認出来る様になりました

・要求IDの自動採番：

固定文字プレフィックス付きの要求IDと階層化されている要求のIDも自動採番出来るようになりました

・3次元リレーションマトリックス：

例えば機能要求と部品をマトリックス形式で表現して、機能要求を参考にしながら各部品に紐づく部品要求をマトリックス上で追加編集出来ます

・ステート・イベントマトリックス：

ステートマシンの状態（State）間の遷移（Transition）設定と遷移のトリガーイベント（Event）を3次元マトリックス上で追加編集出来ます

・Configファイル自動生成機能（新規テンプレート）：

下記の「表」と「マトリックス」のConfigファイルを自動的に生成出来るようになりました

コメントの表

機能分析表

インタフェース定義詳細表

FMEA分析表とマトリックス

リレーションマトリックス

複数リレーション定義マトリックス

複数テンプレートのMSEファイル生成

・変更内容確認：

MapleMBSE上で修正した内容をサーバへコミットする前に今回の修正内容をレビュー出来るようになりました

本件に関するお問い合わせ先

サイバネットMBSE株式会社
営業管理部 長谷川
E-MAIL：info@cybernetmbse.co.jp
